

## 2019年 第1回 運営委員会 議事録

日時:2019年4月14日 (日) PM1:00~3:00

場所:京都教育文化センター

出席者:ツツミアスカ、花原淳子、ふじいみよこ、三田村直美、武蔵篤彦、  
目良真弓 (6名)

### 議題

#### 1. 会員の動向について

木村寿子氏は、かねてより全く連絡も取れず、ブロック展等にも参加されず、休会か退会かも不明な状態であったが、当運営委員会では退会されたものとみなし、次期総会に諮るものとする。

#### 2. 3月のJARFO小品展について

出品者数:38名

売り上げ:9名、11作品の販売があった。

作品70,000円と図録800円の販売があり、作品の内10%の7,000円と図録の計7,800円の収入があった。

今回の巡回展は、遠方の出品者を中心に、JARFOがメンバーを選出した。

赤司庸子、大下百華、久保直美、塩飽和子、武内由美子、武田あずみ、たなか玉実  
寺田一行、羽田多栄子、廣田和子、ふじいみよこ、松岡恵子、松本智子、三宅由里子、若狭陽子

#### 3. オーストラリアお返し展について

<直近のスケジュール>

① 4月21日、京都精華大学で作品撮影 (10時30分から204号室)

② 武蔵氏の方でまとめてオーストラリアへ送付する。(6月)

→EMSで保険を付けて送るが、保険の内容が薄いため他の方法も検討する。

#### 4. 第1回総会で検討する議題

##### ① 閉会にあたり、クロージングパーティーは必要か？

- ・クロージングパーティーをするのであれば、何時、どこで、誰を招待するか？  
今までお世話になった画廊の方々等。  
そのための費用をプールする為、JARFOでの作品展は2020年2月の第4回小品展で終了とする。
- ・代案として、クロージングパーティーは行わず、会でお世話になったギャラリー（JARFO、恵風、ヒルゲート、神楽岡など）に分かれて、閉会に伴うグループ展を行う。できれば同時開催で行い、そのことで会が閉会したことが広く知られると予測できる。この場合2021年の2月のJARFOで作品展が閉会展となる。

##### ② 会の資産：物納された14冊の京都十景画集をどうするのか？

- ① 14冊中の作品を個別に分離して、会員1人1作品を抽選で分配する。
- ② 会員の希望者の中で抽選し、14人に1セットずつ分配する。
- ③ お世話になった画廊及び、過去の協賛金の高額出資者に謹呈する。

※町田美術館などに寄付する案も出たが、10集が完結しても第1集が完売して欠品の状態では難しいのではないかと。早く貰っていただける保証もない。

#### 5. その他

次回、第2回運営委員会は6月2日（日）204号室にて開催（13時～17時）

第一回総会は7月14日（日）府立文化芸術会館、洋室Bにて開催（13時～15時30分）。その後、研究会を行い、18時から三条がんこ本店にて懇親会を行う。

（文責：目良）